

藤沢版

■発行：株式会社タウンニュース社 <https://www.townnews.co.jp>

■編集室：〒251-0021 藤沢市鵠沼神明 5-13-19 TEL：0466-55-4777（代）FAX：0466-55-4888

2023年  
(令和5年)  
1月1日(祝号)  
No.1150

■発行責任者：牛山 知成  
■編集長：原田 一樹

取材に応じる最上重夫氏  
神奈川県日赤紹締有功会会長でもある



藤沢版

■発行：株式会社タウンニュース社 <https://www.townnews.co.jp>  
■編集室：〒251-0021 藤沢市鵠沼神明 5-13-19 TEL：0466-55-4777（代）FAX：0466-55-4888

■発行責任者：牛山 知成  
■編集長：原田 一樹

昨年40周年の大きな節目を迎えた株式会社湘南宮繕協会（本社電野・最上重夫社長）。総合建設業として、小さな修繕工事から率先して受けれる姿勢で大手と差別化をはかりながら、六会中学校の体育館や善行小学校の校舎建設といった大手しか参入ができなかつた大

## 株式会社湘南宮繕協会 最上社長 社会貢献は地域企業の務め 新春特別インタビュー

### 湘南宮繕協会社会貢献の実績一例

左上から時計回りに「大相撲藤沢場所」「献血活動などが認められ紺綏褒章を受章」「障がい者福祉への毎年の寄付」「市民を招待した映画上映会」「商店会のプレミアム商品券販売」「ギニアへのマスク寄贈」



——現在、進められている社会貢献業を教えてください。

最上社長（以下最上）

「毎年として大きなことがあります。藤沢場所では、地元の子どもたちの招待、日本相撲協会の力士らとともに学校を訪れ触れ合うといった取り組みもあります。献血では、大相撲の相撲場所で、地域社会に貢献していく」と語りました。

# タウンニュース

藤沢版

■発行：株式会社タウンニュース社 <https://www.townnews.co.jp>  
■編集室：〒251-0021 藤沢市鶴沼神明5-13-19 TEL: 0466-55-4777 (代) FAX: 0466-55-4888

2023年  
(令和5年)  
1月6日(金号)  
No.1150

■発行責任者：宇山知成  
■編集長：原田一樹

## シニアの祭典貢献に感謝状

県から贈呈 (株)湘南宮崎協会

昨年秋、県内で開催さ

れたシニアのスポーツと  
文化の祭典「ねんりん  
ピックかながわ202  
2」に貢献したとして、  
亀井野に本社を置く(株)湘  
南宮崎協会(最上重夫社  
長)と関連企業、湘南  
アーキテクチュア㈱に県

から感謝状が贈られた。  
先月22日、県スポーツ  
局の三枝茂樹局長が同社  
を訪れ、感謝状を手渡し  
た。

献血活動や大相撲藤沢  
場所など、社会貢献を積  
極的に展開する同社は、  
今大会の成功に向け、協  
賛金の寄付や、協賛  
企業集めなどを行  
い、県から高く評価  
された。



感謝状を受け取った最上社長(左)

全国から県内に、  
選手や観客ら60万を  
超える人が訪れた今  
大会。最上社長は  
「黒岩祐治県知事が  
掲げる未病にもつな  
がる祭典。協力でき  
たことをうれしく思  
う」と話した。

# 神奈川新聞

THE  
KANAGAWA

2023年 [令和5年]

1月21日 [土]

献血で抽選30組

大相撲の観戦券

藤沢

県赤十字血液  
センター

15日に藤沢市遠藤の市秋葉台文化体育館で4年ぶりに開かれる「第28回大相撲藤沢場所」の観戦チケットが当たる献血キャンペーンを行っている。3月14日までに県内献血会場で応募した人から抽選で30組60人に贈られる。

同場所実行委員会の協力で行われるもので、勧進元

の最上重夫・湘南富士縁協会社長は「新型コロナウイル

ス禍で献血も低調な上、春は特に献血量が減少すると聞く。ぜひ、多くの方に協

力していただきたいと呼びかけている

写真。

実行委は同

場所開催に合わせて毎回会場で献血キャンペーンを実施。コロナ禍で中止となつたこの3年間も同体育館などで献血キャンペーンを行い、約500人が協力した。さらなる協力でチケットを提供した。

問い合わせは、県赤十字血液センター湘南事業所事務課 046(228)0990 07-平日。



# 建通新聞

神奈川

発行所 建通新聞社

## 最上社長が赤十字銀色有功章

湘南營繕協会

神奈川県日赤紹総有功

事は「みなさん寄せたため、全力で取り組んで活動資金をもつて、人間いきたい」と感謝を伝えられた。

で、日本赤十字社神奈川県支部の支部長を務める最上重夫社長が、赤十字銀色有功章(幹旋功労)を受賞した。1日に開催された神奈川県日赤紹総有功会新春のつどい

会第13代会長を務める最上社長は、新春のつどいのあいさつの中で、「新型コロナの感染が続いているが、お互いの元気な姿を確認し、会えることが一番の喜びだ」と話した。また、活動の再開を振り返りながら、「会員に喜んでもらい、赤十字の活動を勉強できるイベントを行っていきたい」と意気込みを語った。



黒岩知事(左)と最上社長

支部長あいさつの中でも黒岩知

# 神奈川新聞

THE  
KANAGAWA

2023年 [令和5年]

2月3日[金]

日本赤十字社県支部の活動を支援する県日赤紹綴有功会は1日、横浜市中区のロイヤルホールヨコハマで「新春のつどい」を3年ぶりに開催した。

日本赤十字社から有功章等の伝達が行われ、同支部長の黒岩祐治知事から15の個人や団体に盾などが手渡された。銀色有功章（幹旋ばね）

（功労）を受章した最上重夫会長（写真右）は、「日赤の活動に貢献できて、会長としてうれしく思う。今後も会員増強にしっかりと取り組んでいきたい」と話した。



2023年(令和5年)2月6日(月曜日)

# 日本工業経済新聞

(株)湘南營繕協会(藤沢市)の最上重夫社長(神奈川県日赤紹綏有功会会長)は、日本赤十字社の銀色有功章(幹旋功劳)を受賞した。1日、同日赤紹綏有功会がロイヤルホールヨコハマで「令和5年新春のつどい」を開き、黒岩祐治県知事(日本赤十字社神奈川県支部長)が伝達した。最上会長は受賞したことについて感謝を述べると、

ともに、今年の活動について説明し、「3年ぶりに開催することができとても嬉しい。今後も赤十字の活動を深め、勉強になるイベントを事務局と一緒に進



## 神奈川県日赤紹綏有功会

### 最上会長に銀色有功章授与

#### 「新春のつどい」開く

めていきたい」と抱負を述べた。

また、黒岩知事は血液事業で、「寒くなるこの時期は例年、輸血用血液が減少するが、皆様の努力により藤沢場所が4年ぶりに開催とのこと、それにようり同じ会場で開かれる献血キャンペーンで、より多くの献血協力者に期待できる。今後も県赤十字血液センターでは若年層への献血者普及活動を含め、広く血液の安定的な確保に努めたい」と述べた。同会は、今後も日本赤十字社の支援団体として献血者の安定的確保と安全な輸血用血液の供給に努めるため、献血キャンペーンのPR活動や共同募金活動、ボランティア支援などに取り組んでいく。

no. 11 この地で、  
ともに

連載

## 地域とJ:COMをつなぐ 地域貢献活動

## 次の世代へ、献血のバトンをつないでいく

湘南・鎌倉局 地域プロデューサー 兼 キャリアアドバイザー 滝 真弓さん 地域プロデューサー 安達 幸一さん 管理部 石黒 敬一さん

神奈川県赤十字血液センター



大相撲藤沢場所実行委員会



ジェイコム湘南・神奈川 湘南・鎌倉局

献血キャンペーンで  
地域医療の安定化に貢献

湘南・鎌倉局は毎年4月に開催されている  
春巡業大相撲藤沢場所に合わせ、  
同場所実行委員会、赤十字血液センターと  
ともに献血キャンペーンを展開。

3者の連携は今年で  
10年目を迎えます。



献血バスは大相撲藤沢場所会場「秋葉台体育館」に3台、湘南・鎌倉局に2台を配置。県内の局・センターなど各拠点のご協力も。



体調不良や服薬状況などで  
献血に不適合となる入院を  
減らすため、事前にチェック  
シートを配布する工夫も。

2023年4月15日に行われる  
28回目の献血キャンペーンに向け、  
湘南宮崎協会が県内の高校に  
ポスターを配布し若い世代の  
参加を呼びかけ



## 献血にご協力を

2023年4月15日(土)、湘南・鎌倉局に献血バス  
が来ます。近隣にお住まいの方は、ぜひご協力ください。全国各地域での献血活動につ  
いては、日本赤十字社のHPをご覧ください。  
<https://www.jrc.or.jp/donation/>

相模湾に面する南部は漁業・観光業を中心に賑わい、北部は農業・養豚などが盛んで自然豊かな魅力を持つ、神奈川県藤沢市。湘南・鎌倉局がある辻堂駅周辺は大規模な再開発が行われ、不動産会社による「本当に住みやすい街大賞2022」で1位に選ばれるなど注目が集まっています。一方で神奈川県は少子高齢化により慢性的に献血量が不足しており、特に人口が増加し続けている藤沢市は一層の協力が求められています。

医療体制の安定化を図るべく、2006年から始まったのが「大相撲藤沢場所献血キャンペーン」です。巡業の会場となる

体育館に献血バスを配車し、大相撲藤沢場所 勘進元の湘南宮崎協会・犠上さんらが来場者に協力を呼びかけています。湘南・鎌倉局は2014年から参画しており、事前の周知活動に取り組むとともに局の駐車場に献血バスを配車。このキャンペーンをきっかけに初めて献血に協力した社員も多く、これまでに延べ987人の社員とそのご家族が参加しています。日本赤十字社神奈川支部からは、湘南宮崎協会と共に、2年連続で感謝状をいただきました。

コロナ禍による医療逼迫の余波で必要な献血量がますます増えていることから、これまで以上に献血の認知拡大やキャンペーンの周知に注力していく予定です。安心して過ごせる地域社会の実現に向け、これからを担う若い世代に献血のバトンをつないでいきます。

湘南・鎌倉局  
地域プロデューサー  
安達 幸一さん  
瀧 真弓さん

湘南・鎌倉局  
管理部  
石黒 敬一さん

神奈川県赤十字血液センター  
湘南事務所 事業課 主席  
奈良 和紀さん

大相撲藤沢場所 勘進元  
株式会社湘南宮崎協会 代表取締役  
最上 重夫さん

湘南・鎌倉局の皆さんの積極的な姿勢のおかげで年々参加者が増えており、本当に心強いです。J:COMさんの幅広い世代への広報力と献血キャンペーンには親和性を感じて、今後も湘南地域と一緒に盛り上げるとともに献血の重要性を日本全国に広めていきたいです。



藤沢版

■発行：株式会社タウンニュース社 <https://www.townnews.co.jp>

■編集室：〒251-0021 藤沢市鵠沼神明5-13-19 TEL：0466-55-4777（代）FAX：0466-55-4888

2023年  
(令和5年)  
2月10日(金)号  
No.1157

■発行責任者：宇山知成  
■編集長：原田一樹



日赤から表彰された藤沢市の4人。左上から時計まわりに最上氏、田中氏、重田氏、伊藤氏

## 日赤の活動支援、活性化へ

### 支援組織新春の集い

市内亀井野で建設業を営む最上重夫氏が会長を務める日本赤十字社支援組織、神奈川県日赤紹綏有功会の新春のつどいが

1日、横浜のホテルで開かれた。当日は会員や関係者ら70人以上が来場。日赤神奈川県支部長の黒岩祐治県知事も訪れた。

会長はコロナ禍を経て動き出した活動に触れ、「日本赤十字の活動の理解を深め学びとなるイベントを行っていきたい」と述べ、活性化を誓った。

同日、日本赤十字社から、日頃の活動の支援に對して有功章が贈られた。藤沢市内からは4人が受章。黒岩県知事から盾が手渡された。

表彰されたのは以下の通り。敬称略。

会 金色有功章▽田中重之  
銀色有功章▽伊藤昭子  
(湘南台商店連合会)▽  
重田博章(株)重田工芸  
銀色有功章幹旋功劳▽  
最上重夫(株)湘南宮崎協

# 建通新聞

神奈川

発行所 建通新聞社

## 最上社長が 献血協力要請

湘南營繕協会

(伊坂重憲理事長)と神  
奈川福祉事業協会(伊坂  
重憲会長)が6市1町に  
障がい者施設、後期高齢  
者施設、児童福祉施設な  
どの人所者を対象とした  
招待券を寄贈した。

奈川福祉事業協会(伊坂  
重憲会長)が6市1町に  
の開催、待ち望んだファ  
ンも多い。相撲と献血、  
両方とも成果を上げるよ  
うに願っている」と話し

を務める「大相撲藤沢場  
所」の開催に当たり、神  
奈川県遊技場協同組合

日、2団体の要請を受け  
た最上社長が藤沢市庁舎  
を訪れ、鈴木恒夫市長に  
招待券を手渡した。藤沢場所は4月15日に  
開催、藤沢市の秋葉台体  
育館で開かれる。

他、同時に開催する  
献血の協力を要請し  
た。

最上社長は「4、  
5月は手術をする人  
が多く、血液の不足  
が懸念される。藤沢  
市でも相撲だけでな  
く、献血に協力する  
ように呼び掛けてほ



最上社長(左)と鈴木市長

2023年(令和5年)2月22日(水)

Sports  
Station

県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会などが17日、藤沢市遠藤の秋葉台文化体育館で4月15日に開催される第28回大相撲藤沢場所の招待券55枚を、藤沢市に寄贈した。茅ヶ崎市や大和市など6市1町の福祉施設などに、計220枚を寄贈する予定。

藤沢場所は、新型コロナウイルスの感染拡大で4年ぶりの開催。幕内上位16力士によるトーナメント戦な

続いているといふ。

県赤十字血液センターによると、1月までの今年度、県内で1日当たりの必要献血者約918人に對し、実際の献血者は約896人にとどまっている。昨年11月は1日当たり43人不足しており、その後も8波の影響などで献血は厳しい状況が

## 藤沢場所招待券 市に寄贈

4月15日 献血呼びかけも



元(左)と鈴木恒夫藤沢市長(藤沢市役所で)  
大相撲藤沢場所の招待券を寄贈した最上・勧進

2023年(令和5年)2月24日(金曜日)

# 日本工業経済新聞

大相撲藤沢場所の勧  
進元で大相撲藤沢場所  
実行委員会会長の最上  
重夫氏(株湘南営繕協  
会・社長)は17日、  
藤沢市役所を訪れ、4  
月15日に開催する「第  
28回大相撲藤沢場所」  
へ地元福祉施設の入所  
者に対する招待券を寄

贈した。

招待券を受け取った

鈴木恒夫市長は、「4  
年ぶりに開催される藤  
沢場所で子供たち、高  
齢者、福祉施設の方々  
は楽しみにしている。  
また献血キャンペー  
ンペーンについて輸血  
用血液製剤の安定供給  
のため協力を求めた。

## 「第28回大相撲藤沢場所」 地元福祉施設入所者を招待 藤沢市長に寄贈



最上会長(左)と鈴木市長(右)

謝状を授与した。

これは、神奈川県遊技場協同組合(伊坂重憲理事長)と神奈川福祉事業協会(同会長)が地域貢献活動の一環として障害者や高齢者、児童福祉施設等の入所者を招こうと、藤沢市をはじめ茅ヶ崎市、綾瀬市、海老名市、大和市、座間市、寒川町の6市1町に寄贈しているもので、平成13年から続いている。今回、両団体から要請を受けた最上会長が直接各自治体を回って「相撲を通じて少しでも社会貢献できるようにしていきたい」と招待券を寄贈した。また、藤沢場所と同時開催する献血キャンペーンについて輸血用血液製剤の安定供給のため協力を求めた。



4年ぶりに4月15日に開催される大相撲藤沢場所（最上重夫勧進元／湘南営繕協会社長）の招待券が先月17日、藤沢市役所に寄贈された。目録を届けた最上勧進元（中央左）と鈴木市長（中央右）ら寄贈者は県遊技場協同組合、神奈川福祉事業協会、藤沢遊技場組合。2001年から開催地の藤沢市と周辺5市1町の子どもや障害者、高齢者らを招待していく。今回は計220

## 大相撲藤沢場所 市に招待券を寄贈

枚を寄贈した。

今年は各団体代表の代理として勧進元の最上氏が本庁舎に届けた。

同日行われた寄贈式で鈴木恒夫市長は「寄付をいたいた皆さんに感謝。子どもや施設の方々、高齢者などが待ちに待つていて。喜んでもらえると思う」と感謝を伝えた。

最上氏は藤沢場所の開催に加え同時に実施される献血キャンペーンに言及。「昨年は不足しそうになつた。ぜひ促進に向けて協力を」と訴えた。